学校番号	T3016

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	４年制　４年次
使用教科書	書Ⅰ（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小中学校書写で学んだことを発展させる。芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等があることを学ぶ。
・漢字の書（楷書）から入り、平仮名に至るまで様々な書体を体験する。
・筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざす。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てる。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古典（古筆）の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について、各書体に特有の字形や線質の特徴などを理解している。 ・古典（古筆）に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現をするための技能を身につけている。	・古典（古筆）の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・古典（古筆）の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ▪古典（古筆）の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ▪生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	・芸術科書道の学習に関心をもち、小・中学校の国語科書写で学習した内容との違いを理解し、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。 ・漢字や仮名の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

期	単元名と学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	・書道で学習すること ・書写から書道へ	a: 書道の三分野(臨書・鑑賞・創作)の学習方法を理解している。 b: 小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを理解している。 c: 芸術科書道の学習に関心をもち、小・中学校の国語科書写で学習した内容にとの違いを理解し、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。	観察 レポート 考査	観察 レポート 考査	観察 レポート
	・漢字の変遷とさまざまな書体 ・文字の造形を学ぶ〈楷書〉 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記	a: 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 唐の四大家の人物像や代表作、太宗との関係について理解している。 楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解し、身につけている。 b: 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形、全体の構成について構想し工夫している。 各作品を鑑賞して書風を感じ取り、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 基礎的な知識、運筆リズム・用筆や字形を意識して臨書に取り組んでいる。 主体的に漢字の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 レポート 提出作品 考査	観察 レポート 提出作品 考査	観察 レポート 提出作品
	・文字の造形を学ぶ〈行書・隷書〉 蘭亭序 風信帖 曹全碑	a: 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 b: 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形、全体の構成について工夫している。 各作品を鑑賞して書風を感じ取り、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 基礎的な知識、運筆リズム・用筆や字形を意識して臨書に取り組んでいる。 主体的に漢字の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 レポート 提出作品 考査	観察 レポート 提出作品 考査	観察 レポート 提出作品
	・古典を生かした創作	a: 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。 漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 b: 漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 漢字の古典や創作作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 主体的に漢字の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品

後期	・仮名の成立と種類 ・文字の造形を学ぶ 〈平仮名・変体仮名〉	a: 線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞方法について理解している。 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 b: 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 主体的に仮名の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 レポート 提出作品 考査	観察 レポート 提出作品 考査	観察 レポート 提出作品
	・好きな言葉を書こう ・創作する	a: 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆の関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b: 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 主体的に仮名の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品
	・篆刻	a: 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。 漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 b: 漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 主体的に篆刻の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 レポート 提出作品 考査	観察 レポート 提出作品 考査	観察 レポート 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度